

令和 5 年度 第 8 回

## 郡 市 医 師 会 長 会 議

日時 令和 5 年 12 月 21 日（木）

16 時 00 分～

場所 5 階 大会議室

### 会 長 挨 拶

### 協 議 事 項

- 1 次期埼玉県医師会代議員の議席の指定について

桃木常任理事

- 2 会長・副会長・常任理事協議事項について

### 【郡市医師会長検討事項】

- 1 带状疱疹ワクチン接種の補助金について

井上 東入間医師会長

- 2 埼玉県看護師等養成所運営補助金の減額内示について

井上 秩父郡市医師会長

### 報 告 事 項

- 1 第 179 回埼玉県医師会臨時代議員会 次第について

桃木常任理事

日時：令和 6 年 3 月 14 日（木）14:30～

場所：埼玉県県民健康センター 2 階 大ホール

2 医療事故調査制度の相談事案（令和 5 年 10 月分）について

松本常任理事

※件数 1 件

3 診療に関する相談件数等について（令和 5 年 11 月分）

松本常任理事

※件数 0 件

4 産業医委嘱契約書の確認について

寺師常任理事

5 「マイナ保険証利用促進のため医療機関等への支援（案）」について

小室常任理事

日医

6 会長・副会長・常任理事報告事項について

そ の 他

## [ 資 料 配 布 ] (ホームページ掲載)

- 1 インボイス制度に関する周知等について (52 枚)  
長又常任理事 日医
- 2 マイナポータル連携等を活用した確定申告・年末調整について (12 枚)  
長又常任理事 日医
- 3 医薬品等に係る受領文書について (令和 5 年 11 月分) (2 枚)  
登坂 (英) 常任理事 日医
- 4 医療機器に係る物流 2024 年問題等により生じうる課題と対応策について (9 枚)  
登坂 (英) 常任理事 日医
- 5 製剤の最適使用推進ガイドライン (気管支喘息) の一部改正について (14 枚)  
登坂 (英) 常任理事 日医

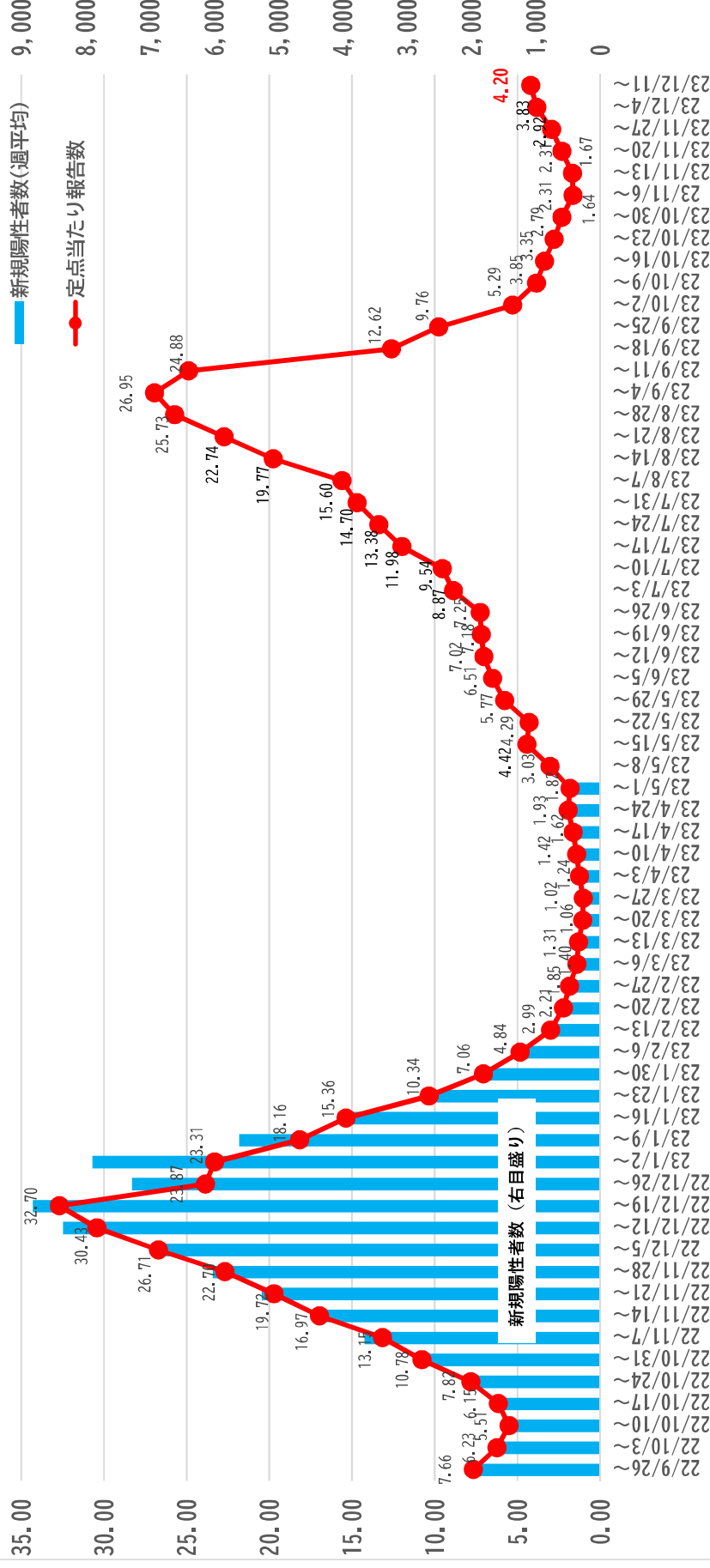
# 埼玉県医師会代議員の郡市医師会別議席番号

任期：令和 6 年 2 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日

議 席 番 号	郡市医師会名	員 数	くじ番号
～	浦和	13	
～	川口市	10	
～	大宮	15	
～	川越市	7	
～	熊谷市	5	
～	行田市	2	
～	所沢市	7	
～	蕨戸田市	4	
～	北足立郡市	7	
～	上尾市	4	
～	朝霞地区	8	
～	草加八潮	5	
～	さいたま市与野	4	
～	入間地区	3	
～	飯能地区	3	
～	東入間	5	
～	坂戸鶴ヶ島	3	
～	狭山市	3	
～	比企	5	
～	秩父郡市	3	
～	本庄市児玉郡	4	
～	深谷寄居	5	
～	北埼玉	3	
～	南埼玉郡市	6	
～	越谷市	11	
～	春日部市	6	
～	岩槻	3	
～	北葛北部	2	
～	吉川松伏	2	
～	三郷市	3	
～	埼玉医科大学	7	
	防衛医科大学校	1	
	計	169	

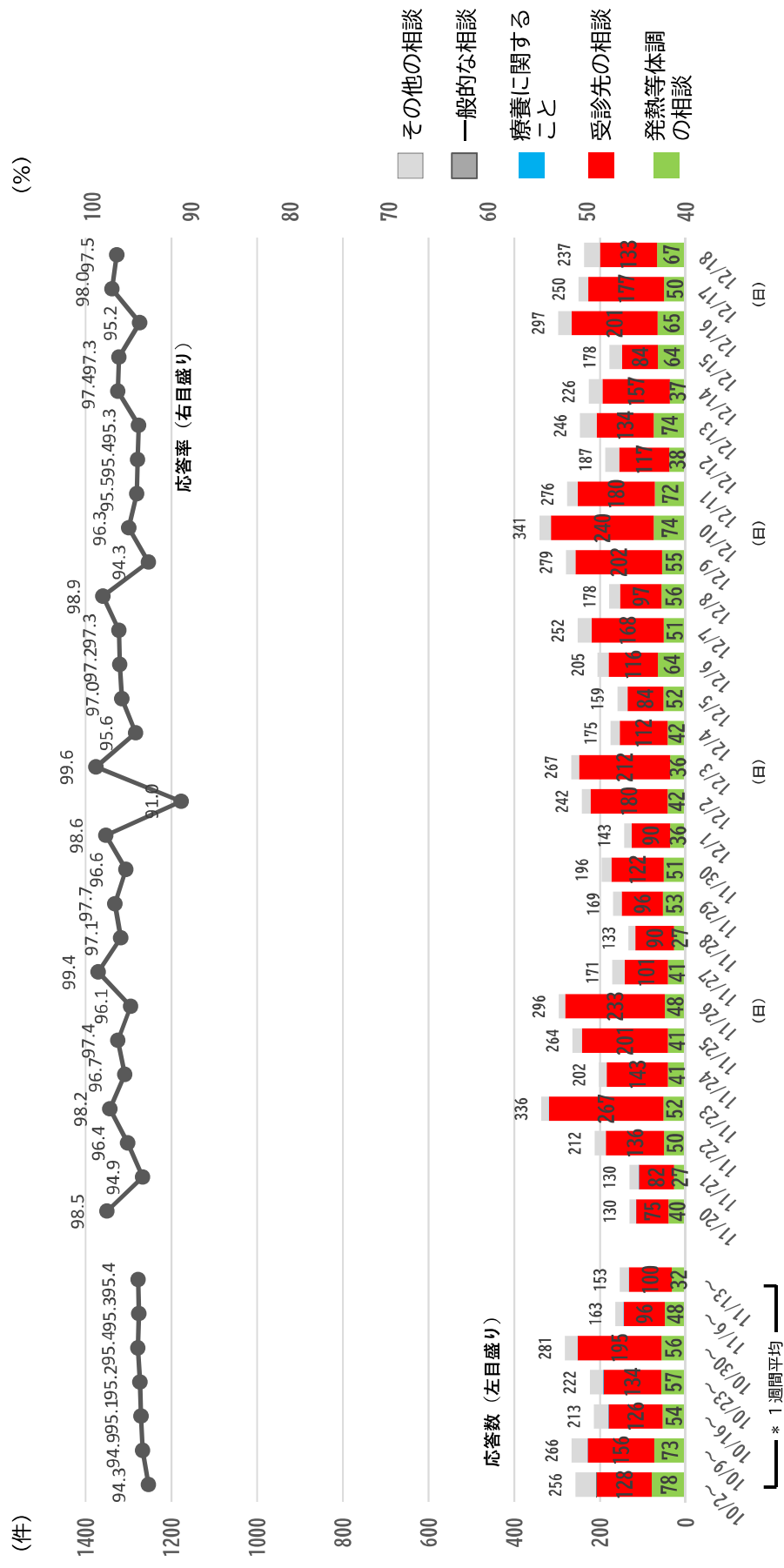
# COVID-19 の新規陽性者 定点当たり週別報告数（全県）

令和5年12月21日  
郡市会長会資料

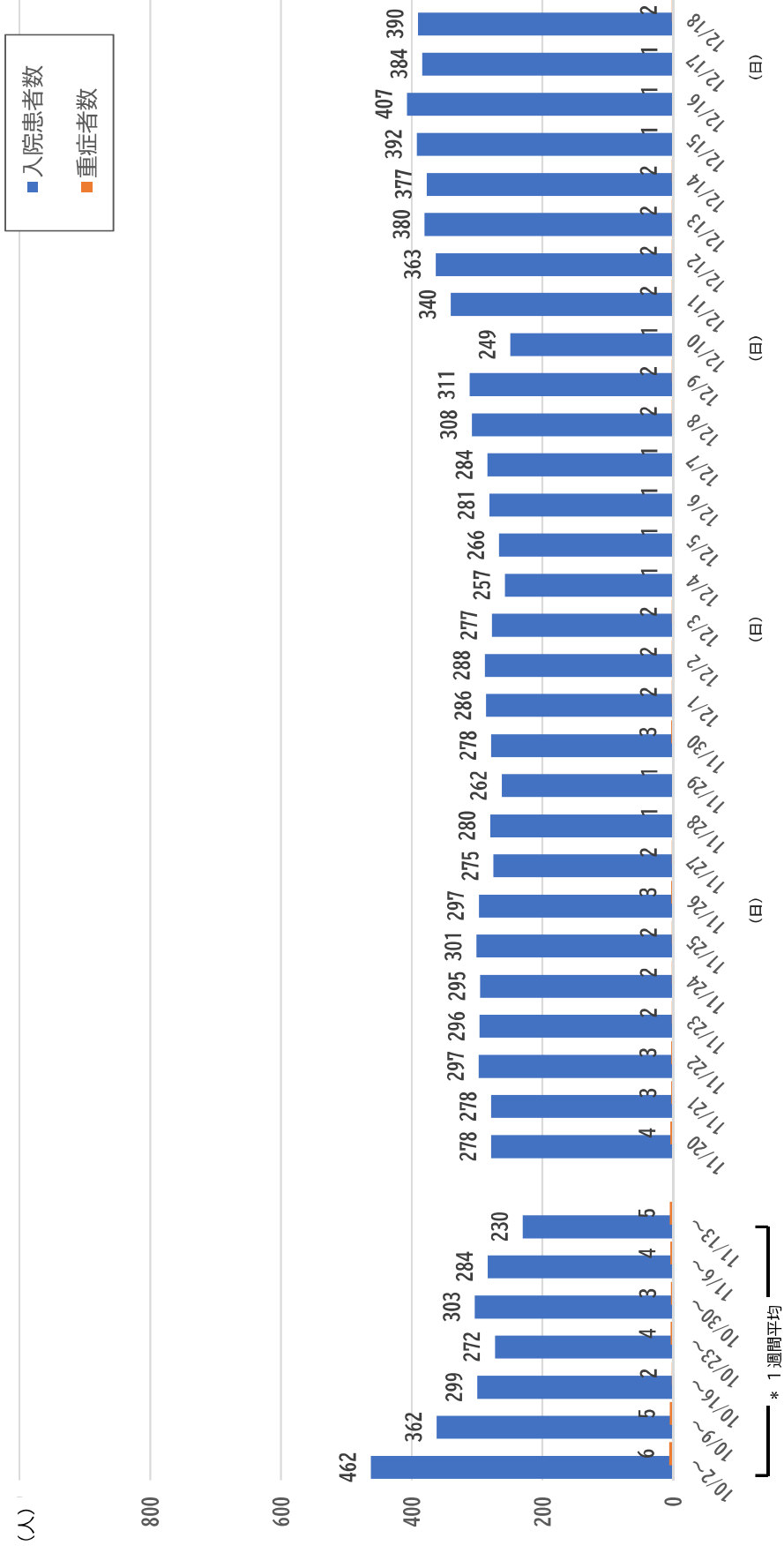


※ 22/9/26～23/5/7においては定点医療機関（261）当たりの週ごとの報告数を日次報告数から算出

## 相談件数の状況



# 入院の状況



## 外来のひっ迫状況に関する調査（G-MIS調査）

期間	回答機関数	外来ひっ迫あり	電話対応支障あり	受付・受診待ち行列あり
令和5年9月第4週（9月18日～9月22日）	412	100	102	75
令和5年9月第5週（9月25日～9月29日）	415	90	93	68
令和5年10月第1週（10月2日～10月6日）	408	60	74	49
令和5年10月第2週（10月9日～10月13日）	392	59	71	49
令和5年10月第3週（10月16日～10月20日）	377	48	66	46
令和5年10月第4週（10月23日～10月27日）	384	65	71	53
令和5年11月第1週（10月30日～11月3日）	366	73	82	60
令和5年11月第2週（11月6日～11月10日）	410	48	62	43
令和5年11月第3週（11月13日～11月17日）	366	54	56	45
令和5年11月第4週（11月20日～11月24日）	409	58	65	53
令和5年12月第1週（11月27日～12月1日）	392	64	65	51
令和5年12月第2週（12月4日～12月8日）	392	73	83	62
令和5年12月第3週（12月11日～12月15日）	408	77	75	60

【参考】

期間	回答機関数	外来ひっ迫あり	電話対応支障あり	受付・受診待ち行列あり
第7波ピーク（令和4年7月25日～7月29日）	327	242	261	142
第8波ピーク（令和4年12月19日～12月23日）	303	159	184	94

※第7波・第8波時は診療・検査医療機関へのアンケート。令和5年5月第1週からは、診療・検査医療機関以外のG-MIS登録医療機関も調査対象

# 診療・検査医療機関の指定状況

## 1 指定医療機関数（R5.12.20現在）

かかりつけのみ	広く受け入れる	計
4 4 3	1, 4 3 6	1, 8 7 9

変更申請



新規申請



## 2 郡市医師会別状況所管地域ごとの医療機関数

浦和	川口市	大宮	川越市	熊谷市	行田市	所沢市	蕨戸田市
1 6 3	1 3 5	1 5 4	9 3	6 2	1 5	8 5	7 0
北足立郡市	上尾市	朝霞地区	草加八潮	さいたま市与野	入間地区	飯能地区	東入間
8 6	5 5	8 5	6 3	4 7	2 8	3 0	5 7
坂戸鶴ヶ島	狭山市	比企	秩父郡市	本庄市児玉郡	深谷寄居	北埼玉	南埼玉郡市
4 3	3 8	6 7	3 8	4 4	4 9	3 2	7 6
越谷市	春日部市	岩槻区	北葛北部	吉川松伏	三郷市		
8 5	6 3	3 4	2 7	2 8	2 7		

## 後遺症外来 医療機関の申出状況

### ■ 申出機関数

**R5.12.20現在 272機関 (医師会員239 非会員33)**

### ■ 郡市医師会所管地域ごとの医療機関数 (うち、非会員の医療機関数)

浦和	川口市	大宮	川越市	熊谷市	行田市	所沢市	蕨戸田市	北足立郡市	上尾市
24(5)	14(3)	27(9)	18(2)	4	5	11	14(2)	14	11(1)
朝霞地区	草加八潮	さいたま市与野	入間地区	飯能地区	東入間	坂戸鶴ヶ島	狭山市	比企	秩父郡市
10(2)	5(2)	16(1)	5	4(1)	8(1)	3	2	10	6
本庄市児玉郡	深谷寄居	北埼玉	南埼玉郡市	越谷市	春日部市	岩槻区	北葛北部	吉川松伏	三郷市
3	4	5	12	13(1)	6(1)	5(1)	5	2(1)	6

登録申請



### ■ 診療科ごとの医療機関数

呼吸器内科分野	耳鼻咽喉科分野	神経内科分野	精神科分野	皮膚科分野	その他 (内科など)
108	69	44	27	32	167

# 診療・検査医療機関等の年末年始の診療状況の公表について

年末年始に発熱等があった方の円滑な診療に繋げるため、期間中に診療する診療・検査医療機関等の診療日・診療時間等を県ホームページで公表します。

## 1 公表開始日等

○ 公表開始日時  
令和5年12月22日（金）12時00分頃

○ 公表ページ  
「埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システムについて」  
URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>  
➤ 上記ページの「医療機関を探す」から年末年始期間に診療する医療機関を検索できます。



公表ページ

【掲載イメージ】

埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム	
診療所・施設詳細	
受診する際は、診療時間や受付機をよくご確認ください。 検査受診の有無・検査方法は、各医療機関により異なります。	
コバトクリニック コバトクリニック	
電話番号	048-232-7961
住所	〒330-9901 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
受診対象者	かかりつけ患者以外も広く受け入れる
小児の受診	受診可
※年末年始期間の診療時間の変更がある場合がありますので、来院前にお電話でご確認ください。	
発熱患者への対応	発熱患者の診療時間
12月25日（月）	○ 9:00-12:00
12月26日（火）	×
12月27日（水）	○ 10:00-11:00、15:00-16:00
12月28日（木）	○ 随時対応しますので、事前に電話ください
12月29日（金）	×
12月30日（土）	×

## 2 期間中の開院状況 回答結果（12/20時点 回答数1140 回答率60.7%）

	日付	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8
R5 回答結果 (12/20 15:00時点) 回答数 1140 回答率 60.7%	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月・祝
	開院数	1014	989	815	622	431	142	80	68	84	75	455	931	842	130	107
	開院率	88.9%	86.8%	71.5%	54.6%	37.8%	12.5%	7.0%	6.0%	7.4%	6.6%	39.9%	81.7%	73.9%	11.4%	9.4%
R4 年末年始回答結果 回答数 1,308 回答率 82.8%	曜日	-	-	-	-	木	金	土	日	月	火	水	木	-	-	-
	開院数	-	-	-	-	489	251	123	101	117	118	490	253	-	-	-
	開院率	-	-	-	-	37.4%	19.2%	9.4%	7.7%	8.9%	9.0%	37.5%	19.3%	-	-	-

※ 令和4年度の12/29～1/3は体制強化を実施

## 年末年始の外來診療体制確保に関するお願い

師走の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、本県の地域医療の推進に格別の御理解・御尽力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、例年、年末年始には感染が拡大する傾向がございます。

また、現在はインフルエンザや咽頭結膜熱など、その他の感染症も流行している状況です。

県では、年末年始における外來診療のひっ迫低減の観点から、県民の皆様に対して、体調不安時には外出を控えることや手洗い・換気など基本的な感染防止対策の継続、急な発熱に備えた解熱鎮痛薬・経口補水液の準備などの呼びかけを適宜、行っております。

一方で、県及び県医師会では、開院する医療機関が少なくなる年末年始に、外來診療を必要とする方が診療を受けられなくなることを懸念しております。

そのため、貴会におかれましては、年末年始であっても、外來診療を必要とする方が安心して診療を受けられるよう、管内の切れ目のない診療体制確保について御配慮を賜りますようお願いいたします。

県民の皆様が安心して年末年始を過ごすためには、貴会をはじめ県内の医療機関の皆様の御協力が不可欠であると考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年12月吉日

埼玉県知事

埼玉県医師会会長

大野 元裕

金井 忠男

## 新型コロナウイルスの接種実績

(R5.12.17までの実績)

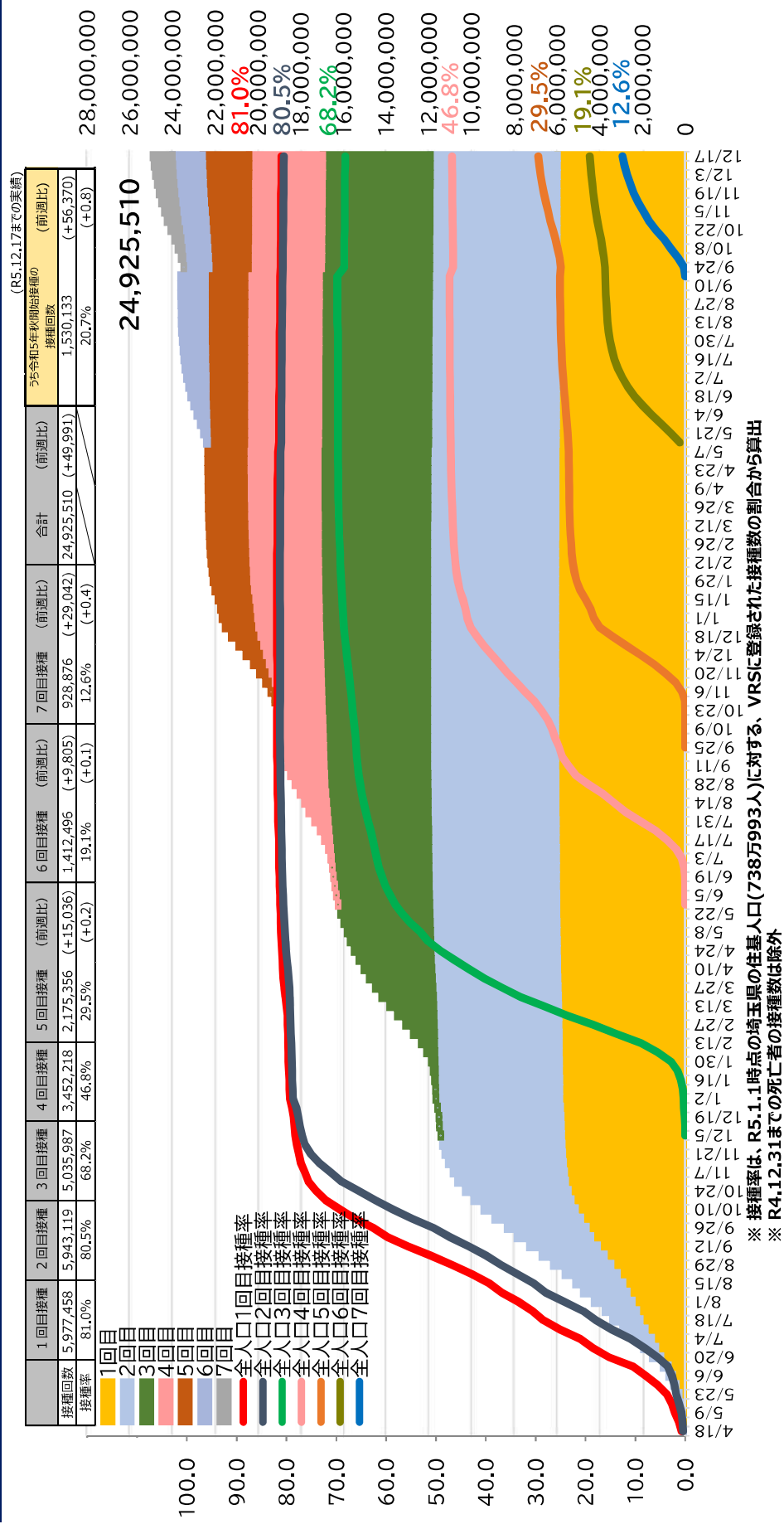
	令和5年秋開始接種の 接種回数	(前週比)	うち高齢者 (前週比)
接種回数	1,530,133	(+56,370)	1,014,101 (+32,982)
接種率	20.7%	(+0.8)	51.3% (+1.7)

【参考：全体】

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
接種回数	5,977,458	5,943,119	5,035,987	3,452,218	2,175,356	1,412,496	928,876
接種率	81.0%	80.5%	68.2%	46.8%	29.5%	19.1%	12.6%
うち高齢者の率	95.1%	94.8%	92.3%	85.9%	75.9%	60.7%	43.5%

※接種率は、R5.1.1時点の埼玉県の住基人口(738万993人)に対する、VRSに登録された接種数の割合から算出  
 ※R4.12.31までの死亡者の接種数は除外

# 新型コロナウイルスの接種実績



# 県ワクチンバス事業の終了について

## ワクチンバス実績（令和5年秋開始接種）

※対象：県内高齢者施設・障害者施設の入所者及び当該施設の従事者



出動月	出動日数	出動先施設数	接種人数
10月	5日	11施設（高齢者11、障害者0）	551人（高齢者551、障害者0）
11月	8日	24施設（高齢者18、障害者6）	859人（高齢者608、障害者251）
12月 （見込み）	7日	12施設（高齢者8、障害者4）	509人（高齢者403、障害者106）
合計	20日	47施設（高齢者37、障害者10）	1,919人（高齢者1,562、障害者357）

## 今後の対応

- ・12月をもって、国の集団接種補助が終了になる。
  - ・ワクチンバス事業の対象となる高齢者施設においては、12月までに概ね9割の施設において接種を終える見込みである。
- ➡
- ・市町村及び接種を終えていない施設に対して、12月中のワクチンバスの利用検討について説明を丁寧に行った上で、**ワクチンバス事業を令和5年12月末で終了**とさせていただきます。

## ワクチン接種後の副反応等への対応(令和6年3月31日までの対応体制)

○ 新型コロナウイルス接種後の副反応を疑う症状が生じた場合、次の**4通りの対応**となる

- ① 接種機関で対応、② 専門相談窓口（コールセンター）での電話相談、③ かかりつけ医などに受診、④（麻痺やしびれ症状で受診した医療機関での対応が困難なとき）接種医・かかりつけ医が専門医療機関（県内4病院）に相談



# コロナワクチンに係る予防接種健康被害救済制度の認定状況について

- ・ 本県においては、新型コロナウイルスに係る予防接種健康被害救済制度の認定件数等についてはこれまで、「公表することにより個人の特定につながる恐れがある」と厚生労働省から指導されていたことから、公表を控えていた。
- ・ 現在では件数が増え、厚生労働省は「個人の特定の特定につながらないよう配慮した上で各自治体で公表を判断すべき」との方針に変わり、他県においても公表する事例が増え、本県においても行政の透明性の向上を図る観点から、県ホームページで公表することとした。

## 予防接種健康被害救済制度（新型コロナウイルス）の認定状況

（令和5年11月30日時点）

	進達件数		認定件数		否認件数		未了件数	
		うち死亡		うち死亡		うち死亡		うち死亡
埼玉県	385	52	172	11	16	0	197	41

※ 埼玉県の総接種回数（令和5年11月26日時点）：25,284,992回

（参考）全国の認定状況（令和5年11月29日 厚生労働省 疾病・障害認定審査会 審議時点）

進達受理 9,522件（うち死亡 1,040件）

認定 5,357件（うち死亡 377件）、否認 860件（うち死亡 49件）、審議未了 3,305件（うち死亡 614件）

# インフルエンザ検査キット及び抗インフルエンザ薬の流通体制に係る対応について

令和5年12月21日 薬務課

## 1. (一社)埼玉県医薬品卸業協会との連携

- ① 主要卸4社におけるインフルエンザ検査キット及び抗インフルエンザ薬の在庫状況調査を開始し、その推移を把握する。
- ② 年未年始に発熱患者の診療を担う医療機関のリストを卸業者側へ事前に提供し、当該医療機関に対する優先的供給・安定供給の確保を依頼した。

## 2. 厚生労働省に対する情報提供等

令和5年12月1日、厚生労働省の担当課に対し、県内医療現場の現状を伝え、更なる安定供給対策の実施について検討を依頼した。

# 井上 東入間医師会長

## 郡市医師会長会議検討テーマ

日付 令和5年12月21日

郡市医師会名：東入間医師会

---

検討テーマ：带状疱疹ワクチン接種の補助金について

---

要 旨：

現在、带状疱疹の罹患者は増加傾向にあり、全国市町村でワクチンに対する補助金を出す動きが広がっています。

しかし、市町村単位では財源不足のため、なかなか実現できないのが現状です。

東京都は、2023年度より带状疱疹ワクチンを助成する区市町村への補助事業が開始されました。生ワクチン5,000円/回、不活化ワクチン10,000円/回を上限としています。

各郡市医師会では、市町村と協議をしておりますが、力不足で実現できていない医師会が多く存在します。

再来年から定期接種の動きがあり、なかなか困難であると思いますが、県医師会から県に対し、市町村に対する補助金の検討をお願いすることはできないでしょうか。

よろしくお願い致します。

---

備 考

※当日の配布資料等がありましたら、添付ください。

## 郡市医師会長会議検討テーマ

日付 令和5年12月15日

郡市医師会名：秩父郡市医師会 井上 靖

---

検討テーマ：埼玉県看護師等養成所運営補助金の減額内示について

---

要 旨：

埼玉県からのこの補助金は、医師会立看護学校にとって最も重要な運営資金です。この補助金が今年度大幅に減額されました。県が当初予算計上した県内の対象（看護学校、准看護師学校、保健師養成課程）43課程が46課程に増えたため、減額調整（94.24%）となったからです。

看護師不足、看護学校受験者減少、看護学校の運営困難、閉校などが問題となっている現在、このような減額は学校経営をさらに苦しめ、閉校への後押しをしているとしか思えません。

また補助金の基準額の算定には学生数、国試合格率、卒業生県内就職率などの要件があり、受験者が減り、学生数が減っている学校ではさらに少額となってしまいます。学生数が減っても学校の体制を縮小することはできず、経費は変わりません。

来年度以降、このような減額調整がないように予算を考慮していただくか、補正予算を立てていただきたいと思います。また学生数が減ってもすぐに大幅な減額とならないように定額制にさせていただき、減額分を県医師会から補填していただく等の検討をお願いしたいと思います。

看護学校運営は、地域への看護師供給のための重要な事業です。特に過疎化の進んでいる秩父地域では医師不足以上に看護師不足が深刻で、たとえ学生が減っても続けなければならない事業です。

ご高配のほど何卒よろしくお願いいたします。

---

備 考

※当日の配布資料等がありましたら、添付ください。

# 記入例

※ このシートで着色されているセルのみ入力してください。(自動計算で額が算定されます)

別紙1 (交付申請)

該当する区分を選び、養成所名を入力してください。

「別紙2」の「総事業費(A)」と「寄付金その他の収入額(B)」の、**控除後の額**を転記してください。

## 看護師等養成所運営費補助金所要額調書

区分	養成所名	総事業費 A 円	寄付金その他の収入額 B 円	差引額 (A-B) C 円	対象経費の支出 予定額 D 円	基準額計 E 円	選定額 F 円	県補助基本額 G 円	補助金所要額 H 円
						#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

- (注)
- 1 網掛けの部分のみ記入すること。
  - 2 区分欄は、該当する課程を選択すること。

「別紙2」の「合計」を転記してください。

「別紙4」の「1 学生生徒の状況」欄の学則上の総定員数と実人員数を**比較して少ない方**を転記してください。

この2か所については、以下の例を参考に計算してください。  
(看護師3年全日制の場合)  
 $(\text{総定員} - 120\text{人}) \div 30\text{人} \times 1,842,000\text{円}$   
※下線部分に端数が発生する場合は切り上げます。

事務職員の加算は「1学年定員80人以上の養成所において、庶務、会計、教務、図書管理等の事務に2人以上専任としての位置付けがなされている場合」に限られます。

生徒に係る分			その他				K~0の合計 円	看護師等養成所の定員数 人	調整率① (定員数) %	調整率①を乗じた額 (P×R) S 円
人員 I 人	単価 J 円	金額 (I×J) K 円	養成所1か所当たり L 円	専任教員増員分 M 円	添削指導員の分 N 円	事務職員の分 O 円				
	#N/A	#N/A	#N/A				#N/A		1.04	#N/A

別表1及び別表2による基準額の積算							
新任看護教員 研修受講者数 T 人	新任看護教員 研修事業単価 U 円	新任看護教員 研修事業加算 (T×U) V 円	看護教員 養成講習会 参加者数 W 人	看護教員養成 講習会参加促進 事業単価 X 円	看護教員養成講習会 参加促進事業加算 (W×X) Y 円	国家試験対策 セミナー参加者数 Z 人	国家試験対策 セミナー参加促進 事業単価 AA 円
	340,000			147,000			6,000

「別紙4」の「1 学生生徒の状況」欄の学則上の総定員数を転記してください。

看護師課程のみ入力してください

別表3及び別表4による基準額の積算									
資格試験 受験者数 AD 人	資格試験 合格者数 AE 人	資格試験 合格率 AF %	調整率③ (合格率) AG	調整率③を乗じた額 (AC×AG) AH 円	卒業生 AI 人	県内就業者数 AJ 人	県内就業率 AK %	調整率④ (県内就業率) AL	調整率④を乗じた額 (AH×AL) AM 円
			0.96	#N/A				0.92	#N/A

調整率⑤ AN	調整率⑤を乗じた額 (AM×AN) AO 円
0.970957	#N/A

(参考) 養成所区分別基準額

区分	基準額	
	生徒	養成所
保健師	12,800	8,284,000
3年全日	15,500	16,178,000
4年修業	15,500	12,134,000
2年全日	17,600	13,889,000
2年定時	17,600	10,417,000
通信制	3,500	17,081,000
准看護師	13,100	8,080,000

# 桃木常任

## 第179回 埼玉県医師会臨時代議員会次第

日時：令和6年3月14日（木） 14：30

場所：埼玉県県民健康センター 2階大ホール

### 1. 開 会

### 1. 臨時議長選出

### 1. 議事録署名委員指名

### 1. 会長挨拶

### 1. 埼玉県医師会代議員会議長及び副議長の選定

### 1. 議 事

第1号議案 日本医師会代議員及び予備代議員の選出について決議を求める件

第2号議案 令和5年度埼玉県医師会会員の会費減免申請に関し承認を求める件

第3号議案 令和6年度埼玉県医師会会員の会費減免申請に関し決議を求める件

### 1. 報 告 事 項

（1）令和6年度埼玉県医師会事業計画

（2）令和6年度埼玉県医師会収支予算

### 1. 会長挨拶

### 1. 閉 会



産業医委嘱契約書の確認について

令和5年11月10日～令和5年12月14日 合計18件(新規5件・更新13件)

No.	郡市医師会名	産 業 医 名	病 ・ 医 院 名	契 約 者（事業場）名・所在地	備 考	会 員	新 規
1	6	行田市	植山 直人	行田協立診療所	埼玉県立進修館高等学校 行田市長野 1 3 2 0 埼玉県 さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号	公立高校の健康管理医（産業医）。 前任者が契約後に体調不良で退任。 本件は、後任者の委嘱契約。	新規
2	10	上尾市	伊藤 裕之	上尾胃腸科外科医院	上尾市本町三丁目 3 番 2 号 上尾ロイヤルビル3階A 株式会社ジョイトークイーストジャパン		新規
3	10	上尾市	伊藤 裕之	上尾胃腸科外科医院	上尾市本町三丁目 3 番 2 号 上尾ロイヤルビル3階A 株式会社ジョイトークイーストジャパン		新規
4	12	草加八潮	石井 敬一	石井外科医院	八潮市南後谷粒田北 3 0 0 須川工業株式会社		新規
5	27	岩槻	高橋 毅	岩槻ファミリークリニック	さいたま市岩槻区上野 6 - 1 2 - 8 藤倉コンボジット株式会社 岩槻工場		新規
6	5	熊谷市	姜沢 利行	藤間病院	比企郡川島町戸守407番地1 京セラ株式会社 埼玉川島事業所	H29以前から継続契約。 当初引き受けた経緯は不明との事。	更新
7	5	熊谷市	姜沢 利行	藤間病院	比企郡川島町戸守407番地1 京セラ株式会社 埼玉川島事業所	H29以前から継続契約。 当初引き受けた経緯は不明との事。	更新
8	8	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニック	戸田市笹目北町 1 2 - 1 4 野口興産株式会社 東京物流センター		更新
9	8	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニック	戸田市笹目北町 1 4 番地 1 9 日興サービス株式会社		更新
10	8	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニック	戸田市新曽南 2 - 4 - 9 富士商興株式会社		更新
11	8	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニック	さいたま市緑区東浦和 2 丁目 3 7 番地 1 埼玉設備リース株式会社	事業場が近隣のため依頼があった。	更新

# 産業医委嘱契約書の確認について

令和5年11月10日～令和5年12月14日 合計18件(新規5件・更新13件)

No.	郡市医師会名	産 業 医 名	病 ・ 医 院 名	契約者（事業場）名・所在地	備 考	会 員	更 新
12	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	戸田市笹目5-21-7 有限会社渡利商事			更新
13	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	戸田市笹目4-2-4 株式会社高通サービス			更新
14	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	戸田市笹目北町10番地11 株式会社エヌビーシー			更新
15	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	栃木県宇都宮市岩曽町1333番地 環境整備株式会社	H22から継続契約。 県外の事業所だが、引き受けた経緯は不明との事。		更新
16	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	戸田市笹目8-10-23 株式会社エー・シー・トランスポート			更新
17	蔵戸田市	公平 不二雄	こうゆうクリニク	戸田市美女木北2丁目10番地の11 寿ロジコム株式会社 戸田共配センター			更新
18	飯能地区	横田 健介	横田医院	日高市原宿721番地 株式会社末広太平洋			更新

# 小室常任

日医発第 1608 号(情シ)(保険)  
令和 5 年 12 月 12 日

都道府県医師会 担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会  
常任理事 長島 公之  
(公印省略)

「マイナ保険証利用促進のため医療機関等への支援(案)」について(周知依頼)

平素より本会会務の運営に特段のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
令和5年11月10日に閣議決定された令和5年度補正予算案において、マイナ保険証の利用率(初診・再診・調剤)が一定以上増加した医療機関・薬局に対し、増加率に応じて段階的に利用件数分の支援を行うこと及びマイナ保険証利用件数が多い医療機関・薬局について、顔認証付きカードリーダーの増設を支援することが盛り込まれ、同29日に予算が成立いたしました。その内容について周知依頼がございましたので、お知らせいたします。

・厚生労働省：医療機関等におけるマイナ保険証利用促進のための支援(案)

マイナ保険証の利用促進のインセンティブとなるよう、初診・再診等におけるマイナ保険証の利用率の増加に応じて、医療機関等に利用件数分の支援をする。  
医療機関ごとに、令和5年10月のマイナ保険証利用率と比較した利用率の伸びが大きくなるほど支援額の単価が高くなるように設計。

・厚生労働省：医療機関・薬局における顔認証付きカードリーダー増設の支援(案)

マイナ保険証利用件数が多い医療機関・薬局について、顔認証付きカードリーダーの増設を支援するもので、令和5年10月から令和6年3月までのいずれかの月のマイナ保険証の月間利用件数の総数が500件以上の機関を対象。

・デジタル庁：医療機関・薬局でのマイナンバーカードの利活用推進事業

マイナンバーカードを診察券や公費負担医療や地方単独医療費助成の受給者証として利用可能とするため必要な医療機関・薬局のシステム(再来受付機・レセプトコンピューター)の改修について支援を実施。

支援額、補助額につきましては別添資料をご確認ください。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご丁知いただくと共に、貴会管下の郡市区等医師会ならびに会員への周知方につき、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【別添資料】

・【事務連絡】マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援(案)について(周知依頼)

・【別添】マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援について(案)

以上

事 務 連 絡  
令和5年11月29日

公益社団法人 日本医師会  
公益社団法人 日本歯科医師会 御中  
公益社団法人 日本薬剤師会

厚生労働省保険局医療介護連携政策課

「マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援（案）」  
について（周知依頼）

日頃より、貴会におかれましては、医療保険行政の推進にご協力いただき、厚く御礼を申し上げます。また、日々のマイナ保険証の利用促進にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

令和5年11月10日に閣議決定された令和5年度補正予算案において、マイナ保険証の利用率（初診・再診・調剤）が一定以上増加した医療機関・薬局に対し、増加率に応じて段階的に利用件数分の支援を行うこと及びマイナ保険証利用件数が多い医療機関・薬局について、顔認証付きカードリーダーの増設を支援することを盛り込んだところです。

利用率の増加に対する支援については、医療機関・薬局ごとに、令和5年10月のマイナ保険証利用率と比較した利用率の伸びが大きくなるほど支援額の単価が高くなる制度設計としています。

また、顔認証付きカードリーダーの増設支援については、令和5年10月から令和6年3月までのいずれかの月のマイナ保険証の月間利用件数の総数が500件以上の機関を対象としています。

加えて、デジタル庁においても、マイナンバーカードを診察券や公費負担医療等の受給者証として利用可能とするため必要な医療機関・薬局のシステム改修への支援を補正予算に盛り込んでいるところです。

なお、これらの事業の実施に当たっては、令和5年度補正予算の成立が前提となります。

貴会におかれましては、これらの内容についてご了知いただくとともに、別添資料も活用し、貴会会員に対し周知いただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、本支援の周知に当たっては、10月5日に開催いたしました「マイナ保険証の利用促進に向けた関係団体等との意見交換会」において、貴会からのご協力も得て作成いたしました医療機関・薬局等におけるマイナ保険証の利用促進を働きかけるポスターについても、積極的にご活用いただきたいと考えております。

厚生労働省 HP ([https://www.mhlw.go.jp/stf/index\\_16745.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/index_16745.html))

ご不明な点がありましたら、下記問合せ先までご連絡ください。何卒、よろしくお願いいたします。

【問合せ先】

厚生労働省保険局

医療介護連携政策課保険データ企画室

土岐・栗林・彦坂

E-mail: [suisin@mhlw.go.jp](mailto:suisin@mhlw.go.jp)

以上

# マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援について(案)

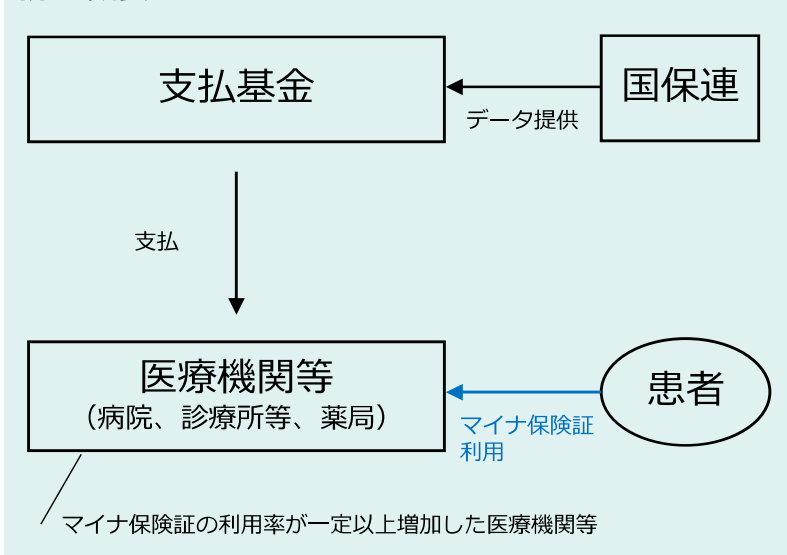
- 医療現場において、カードリーダーの操作に慣れない患者への説明など、マイナ保険証の利用勧奨に取り組んでいただくことで、マイナ保険証の利用促進を図る。そのインセンティブとなるよう、初診・再診等におけるマイナ保険証の利用率の増加に応じて、医療機関等に利用件数分の支援をする。

## 1. 医療機関等におけるマイナ保険証利用促進のための支援（案）

- ・概要：マイナ保険証の利用率（初診・再診・調剤）が一定以上増加した医療機関等に対して、増加率に応じて段階的に利用件数分の支援
- ・取組期間：2024（R6）年1月～11月（前半：2024（R6）年1～5月、後半：2024（R6）年6～11月）
- ・支援内容：マイナ保険証利用件数が少ない医療機関の底上げが目的。期間中のマイナ保険証利用率が2023（R5）年10月の利用率との比較で増加した医療機関等に対する支援。前半（2024（R6）年1～5月）と後半（2024（R6）年6～11月）それぞれの平均利用率・総利用件数に応じて支援額を決定。
- ・事務の概要：支払基金において、前半、後半の期間ごとに、医療機関の期間中の平均利用率と2023年10月の利用率を踏まえ支払い。（年2回、医療機関からの申請は不要）

2023.10の利用率からの増加量	対象期間(2024.1～5)支援額	対象期間(2024.6～11)支援額
5 %pt以上	20円/件	—
10 %pt以上	40円/件	40円/件
20 %pt以上	60円/件	60円/件
30 %pt以上	80円/件	80円/件
40 %pt以上	100円/件	100円/件
50 %pt以上	120円/件	120円/件

### <事務の概要>



# マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援について（案）

## 2. 医療機関・薬局における顔認証付カードリーダー増設の支援（案）

マイナ保険証利用件数が多い医療機関・薬局について、顔認証付きカードリーダーの増設を支援

### ○補助内容

2023(R5)年10月から2024(R6)年3月までのいずれかの月のマイナ保険証の月間利用件数の総数が500件以上の機関については、顔認証付きカードリーダー1台の増設に要した費用の一部を補助する。

なお、病院については、以下の条件に応じ、顔認証付きカードリーダー最大3台まで、増設に要した費用の一部を補助する。

機 関	利用件数	500～999件	1,000～1,499件	1,500～1,999件 ※1台運用機関1,500件以上	2,000～2,499件 ※2台運用機関1,500件以上	2,500件以上
1台の無償提供を受けた施設		1 台	2 台	3 台	—	—
2台の無償提供を受けた施設		—	1 台	2 台	3 台	—
3台の無償提供を受けた施設		—	—	1 台	2 台	3 台

### ○補助対象・補助率

顔認証付きカードリーダー・資格確認端末の購入費用・工事費に対して1／2補助。

〔補助上限額〕

病院	1 台	2 台	3 台
	275,000	450,000	625,000

診療所 薬局	1 台
	275,000

# 医療機関・薬局でのマイナンバーカードの利活用推進事業（令和5年度補正予算案 42.1億円）

## マイナンバーカード一枚で医療機関・薬局に受診できる環境を目指して

来年度秋の保険証廃止に向けて、マイナ保険証利用に係るメリットを更に感じていただけるよう、マイナンバーカードを診察券や公費負担医療や地方単独医療費助成の受給者証として利用可能とするため必要な医療機関・薬局のシステム(再来受付機・レセプトコンピューター)の改修について支援を実施。

### 【イメージ】



### 【事業概要】

診察券又は医療費助成の受給者証の一体化に係るシステム改修を行う医療機関・薬局に対して以下の補助を行う。

	病 院	大型チェーン薬局 (グループで処方箋の受付が月4万回以上の薬局)	診療所 薬局(大型チェーン薬局以外)
費用の 補助内容	再来受付機の改修を含む場合 60.0万円を上限に補助 ※1 (事業費120万円を上限にその1/2を補助)	3.6万円を上限に補助 ※2 (事業費7.3万円を上限にその1/2を補助)	5.4万円を上限に補助 ※2 (事業費7.3万円を上限にその3/4を補助)
	上記以外の場合 28.3万円を上限に補助 ※2 (事業費56.6万円を上限にその1/2を補助)		

※1 マイナ保険証の利用件数が一定以上であることを満たす場合。現に設置している再来受付機のみを対象とする。

上記を満たさない場合でも、利用率が一定以上増加しているときには、40.0万円を上限に補助(事業費120万円を上限にその1/3を補助)。

※2 診察券のマイナンバーカードへの一体化のみ対応する医療機関においては、マイナ保険証の利用率が一定以上増加していることを満たす場合のみ補助

## 【補助内容・要件（詳細）】

補助内容（上限額）は、医療機関・薬局の種別や対象経費等に応じ、以下表のとおり。

		PMH(受給者証) & 診察券の 両方対応	PMH(受給者証) のみ対応	診察券のみ対応(診療所・病院)
診療所 薬局(大型チェーン薬局以外)		5.4万円を上限に補助 (事業費7.3万円を上限にその <b>3/4</b> を補助)		5.4万円を上限に補助 ※ 2 (事業費7.3万円を上限にその <b>3/4</b> を補助)
大型チェーン薬局		3.6万円を上限に補助 (事業費7.3万円を上限にその <b>1/2</b> を補助)		—
病院	①再来受付機の改修を含む	60.0万円を上限に補助 ※ 1 (事業費120万円を上限にその <b>1/2</b> を補助) 40.0万円を上限に補助 ※ 2 (事業費120万円を上限にその <b>1/3</b> を補助)	—	60.0万円を上限に補助 ※ 1 (事業費120万円を上限にその <b>1/2</b> を補助) 40.0万円を上限に補助 ※ 2 (事業費120万円を上限にその <b>1/3</b> を補助)
	②上記以外	28.3万円を上限に補助 (事業費56.6万円を上限にその <b>1/2</b> を補助)		28.3万円を上限に補助 ※ 2 (事業費56.6万円を上限にその <b>1/2</b> を補助)

## 【補助要件】

※ 1 : 2023(R5)年10月末から2024(R6)年3月末までのいずれかの月のマイナ保険証の月利用件数の総数が500件以上であること

※ 2 : 2023年10月末のマイナ保険証の利用率と比較して、2024年1月以降の平均利用率が5%以上増加したこと(注)

注 2024年1月以降の利用率を算出し、5%を超えた時点で申請要件を満たすこととする。

※ 対象施設は、オンライン資格確認の義務化対象施設約21万施設の概ね1/4程度を想定

※ 再来受付機については、現に設置する病院において改修を行う場合のみ対象(購入は対象外)。